



インフルエンザ警報レベル超え！
しっかり手洗い、きちんとマスク

令和7年1月15日
 富山県感染症情報センター
 (富山県衛生研究所内)
 (0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和7年第2週分・1月6日～1月12日)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

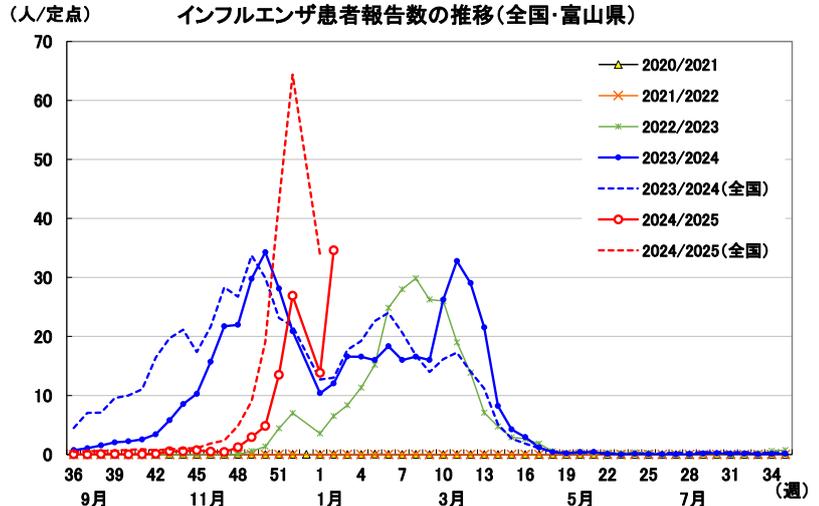
インフルエンザは流行時期に合わせ、毎年第36週(8月末～9月初旬)から翌年の第35週までの1年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

2020年に発生したCOVID-19の世界的流行の影響を受け、2020/2021、2021/2022シーズンにおいて国内ではインフルエンザの大きな流行は見られませんでした。しかし、以降の2022/2023シーズン(緑)には警報レベルの基準(30人/定点)に近い流行が、2023/2024シーズン(青)には警報レベルを超える流行が全国および富山県で発生しました(右図)。

今シーズン(赤)において全国の報告数は、第44週に流行開始の目安である1.00人/定点を超え、第52週では64.39人/定点となり、現行の統計を開始した1999年以降最多となりました。2025年第1週は患者報告数が33.82人/定点と減少したものの、年末年始の定点医療機関の休診により、流行状況を過小評価している可能性があります。富山県の今週の報告数(2025年第2週)は34.60人/定点であり、先週の報告数(13.82人/定点)から急増し、警報レベルの基準を超えました。入院サーベイランスでは80歳以上の入院患者数の増加が顕著になっています。65歳以上の方や基礎疾患のある方で接種を受けていない方は、早めの接種をご検討ください。

今シーズン、インフルエンザにより学級閉鎖等の措置をとった施設数は、1月14日時点で24施設(保育所・幼稚園0、小学校12、中学校7、高等学校4、その他1)です。学校も再開し、今後の感染状況には注意が必要です。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。感染対策として、手洗い、マスク着用を含む咳エチケット、適切な換気の実施が重要です。また、ワクチン接種は肺炎等の重症化予防に有効です。発熱や咳等の症状がある場合は無理せず登園や通学、出勤を控えるようにしましょう。



《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(80歳代、男性)
- 四類感染症 A型肝炎 1件(40歳代、女性)
- レジオネラ症 1件(80歳代、女性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件(90歳代、男性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、女性、B群)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件(60歳代、女性)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 4件 ①40歳代、男性 ②60歳代、男性 ③70歳代、男性 ④90歳代、男性

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	34.60 (↑)	13.82
2位	COVID-19	8.42 (↑)	2.91
3位	感染性胃腸炎	5.59 (↑)	1.96
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.59 (↑)	0.64
5位	マイコプラズマ肺炎	1.00 (↑)	0.00
6位	咽頭結膜熱	0.45 (↑)	0.04



○感染症発生動向調査報告状況（令和7年第2週 令和7年1月6日～令和7年1月12日）

分類	疾患	今週報告分（第2週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1			1			1	1		2
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1			1	1		2
	四類感染症	A型肝炎			1			1			1			1
		レジオネラ症			1			1			1			1
	五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1			1			1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1					1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			1	1		2
侵襲性肺炎球菌感染症		1				3	4	1			1	4	6	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	247	143	512	313	446	1,661	481	202	623	430	547	2,283
		COVID-19	35.29	28.60	39.38	44.71	27.88	34.60						
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	97	53	80	85	89	404	164	68	92	112	99	535	
		13.86	10.60	6.15	12.14	5.56	8.42							
	咽頭結膜熱	2				3	5	3		1		5	9	
		0.50				0.30	0.17							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		10		2	13	2		10		2	14	
		0.25		1.25		0.20	0.45							
	感染性胃腸炎	3	6	40	8	47	104	6	6	42	9	59	122	
		0.75	2.00	5.00	2.00	4.70	3.59							
	水痘	21	10	20	14	97	162	33	11	25	20	128	217	
		5.25	3.33	2.50	3.50	9.70	5.59							
	手足口病	1	1		2	2	6	1	1		2	4	8	
		0.25	0.33		0.50	0.20	0.21							
	伝染性紅斑			1		1	2			1		1	2	
			0.13		0.10	0.07								
突発性発しん			3		3	3			4			4		
			0.38		0.10	0.10								
ヘルパンギーナ			4	2	2	8			5	2	3	10		
			0.50	0.50	0.20	0.28								
流行性耳下腺炎							1					1		
		1		1		2		1	1	1	1	4		
		0.33		0.25		0.07								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎			2		2			2			2		
				1.00		0.29								
流行性角結膜炎				3		3			3			3		
			1.50		0.43									
基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎			2	2	1	5			2	2	1	5	
				2.00	2.00	1.00	1.00							
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	12	1	8	14	10	45	44	17	31	43	34	169	
		6	5	6	10	17	44	11	16	13	22	28	90	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

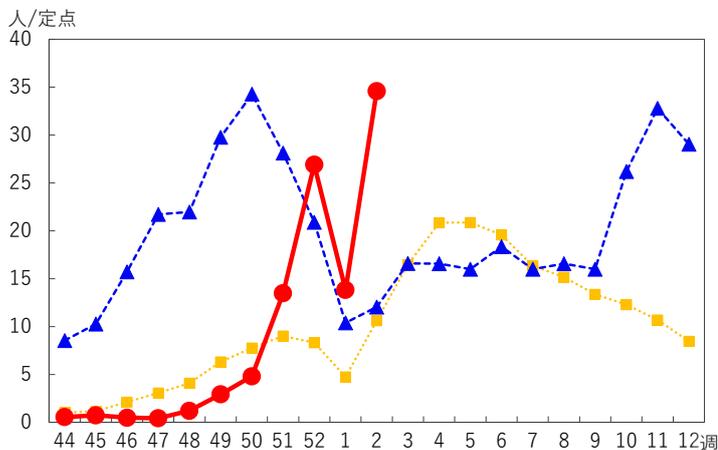
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2025（令和7）年 第2週（1月6日（月）～1月12日（日））

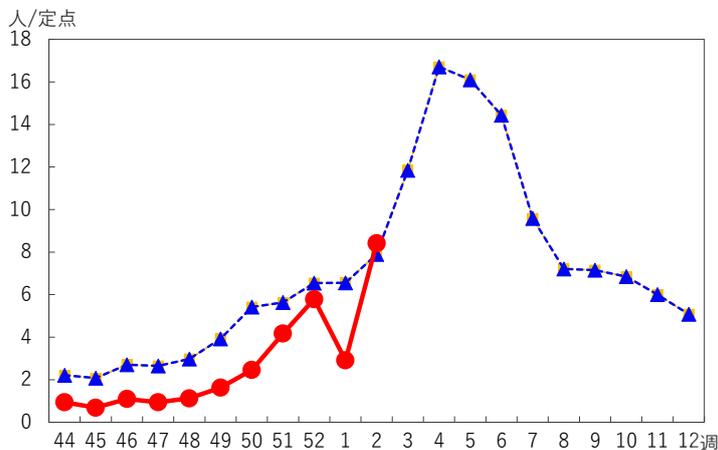
1月15日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

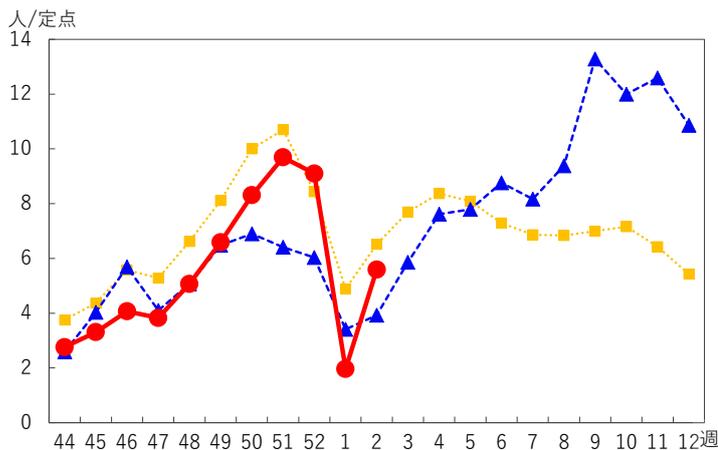
インフルエンザ



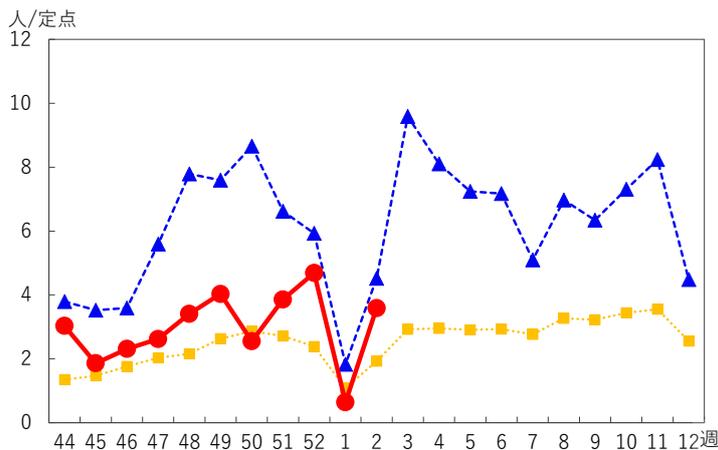
COVID-19



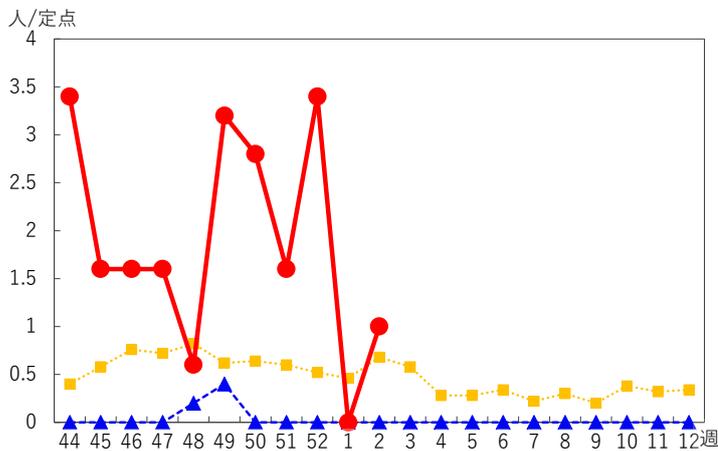
感染性胃腸炎



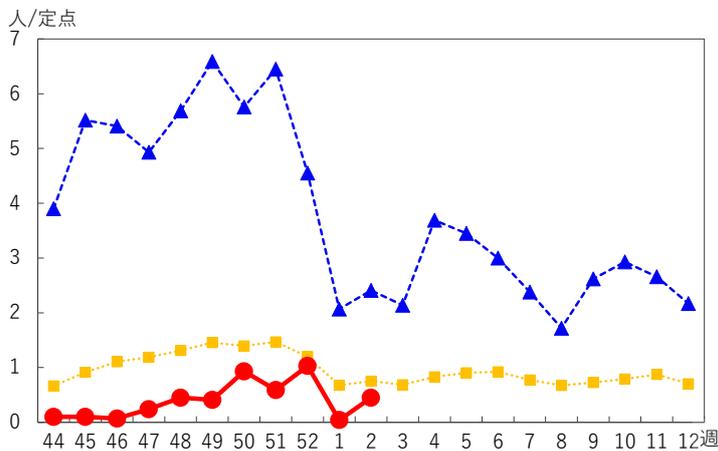
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



マイコプラズマ肺炎



咽頭結膜熱



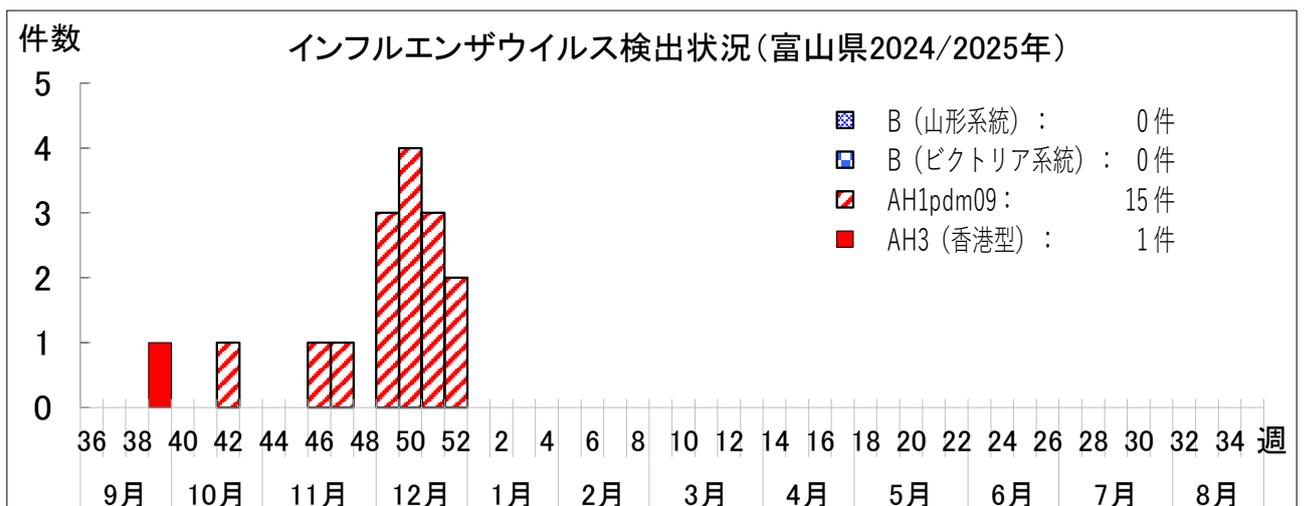
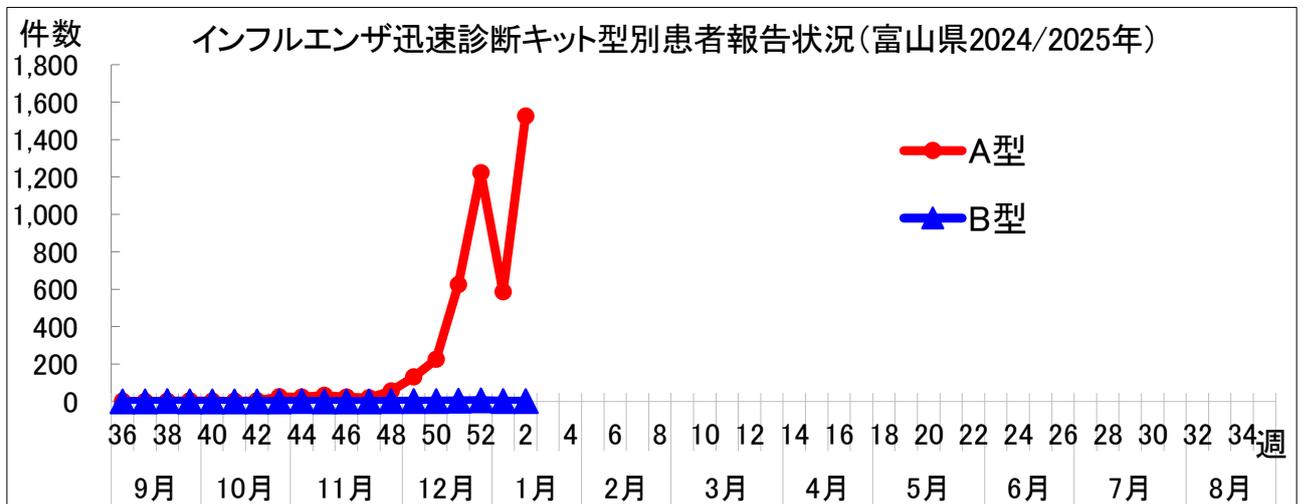
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が91.8%となっています。

第2週(1/6~1/12)：富山県 34.60人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	239	0	8	247
中部	5 / 5	123	0	20	143
高岡	13 / 13	437	1	74	512
砺波	7 / 7	306	0	7	313
富山市	16 / 16	419	0	27	446
富山県	48 / 48 ^{※1}	1,524	1	136	1,661
富山県累計(2024年36週~)		4,505	18	274	4,797

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が48か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



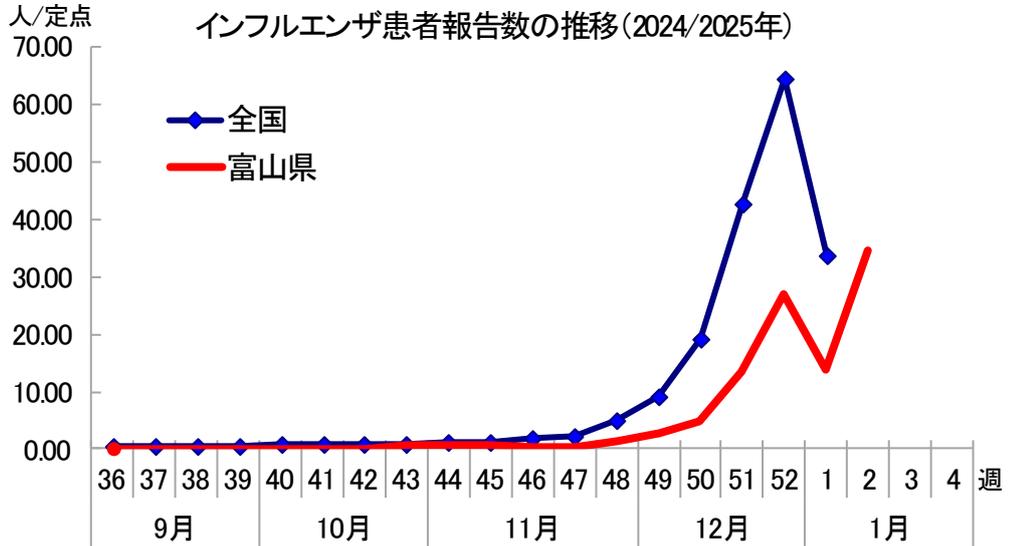


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第2週 (1/6~1/12) : 富山県 34.60 人/定点

新川 HC (35.29)、中部 HC (28.60)、高岡 HC (39.38)、砺波 HC (44.71)、富山市 HC (27.88)

県内では第48週から流行期に入っています。今週の県内の患者報告数は34.60人/定点となり、今シーズンで初めて警報レベルの基準(30人/定点)を超えました。今後しばらくは流行が継続することが予測されます。

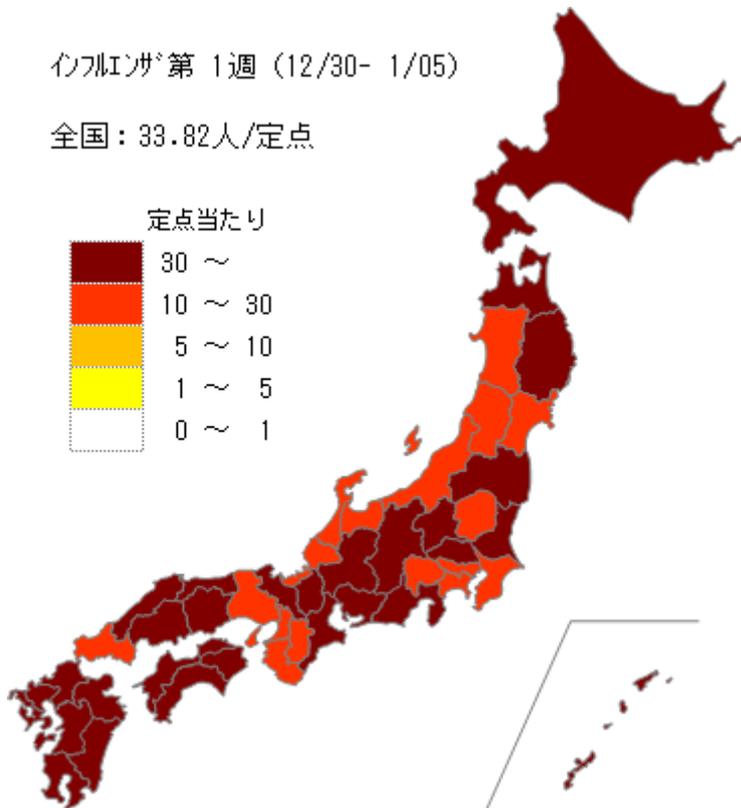


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第1週 (12/30~1/5)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 33.82 人となり、前週の 64.39 人より減少しました。6 県で前週より増加しています。41 都道府県で前週より減少しています。

インフル第1週 (12/30- 1/05)

全国：33.82人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	34.71 ↓	滋賀県	52.58 ↓
青森県	36.62 ↑	京都府	30.24 ↓
岩手県	35.48 ↓	大阪府	25.36 ↓
宮城県	16.69 ↓	兵庫県	22.18 ↓
秋田県	12.43 ↓	奈良県	24.80 ↓
山形県	25.92 ↓	和歌山県	26.20 ↓
福島県	46.84 ↑	鳥取県	48.72 ↑
茨城県	60.18 ↓	島根県	45.89 ↓
栃木県	28.63 ↓	岡山県	34.32 ↓
群馬県	35.71 ↓	広島県	40.40 ↓
埼玉県	46.07 ↓	山口県	29.21 ↓
千葉県	28.33 ↓	徳島県	42.32 ↓
東京都	13.81 ↓	香川県	37.21 ↓
神奈川県	12.44 ↓	愛媛県	34.30 ↓
新潟県	21.97 ↓	高知県	46.48 ↓
富山県	13.82 ↓	福岡県	40.40 ↓
石川県	25.81 ↓	佐賀県	45.42 ↓
福井県	26.72 ↓	長崎県	45.60 ↓
山梨県	19.17 ↓	熊本県	47.87 ↓
長野県	47.92 ↑	大分県	54.26 ↓
岐阜県	70.67 ↑	宮崎県	45.27 ↓
静岡県	36.31 ↓	鹿児島県	36.36 ↓
愛知県	55.97 ↓	沖縄県	37.04 ↑
三重県	36.54 ↓	全国	33.82 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年12月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		12月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症		1	2		11	14	2	5	15		106	128
			1.00	0.67		2.75	1.40						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		3	4		10	6	1	66	83
				0.33		0.75	0.40						
尖圭コンジローマ				1		10	11			2	5	28	35
				0.33		2.50	1.10						
淋菌感染症										4		19	23
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	2	1	6	10	22	7	25	16	87	157
			1.00		2.00	1.00	6.00	2.00					
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							6	1	7		9	23

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。